

京都市立伏見工業高校授業受け持ち

1月19日 京都市立伏見工業高校

高木金属(株)高木正司

平成18年1月20日(金)機青連ひとづくり委員会にて、京都市立伏見工業高校総合技術科「産業と社会」の授業を受け持ちました。

内容としましては

- ① 岡崎ひとづくり委員長より挨拶
- ② 機青連スライドムービーの上映
- ③ 生田社長(新入社員様二名)講話
- ④ 飛永代表幹事の挨拶

という流れで進行しました。

①においては岡崎委員長より、機青連について・次週開催されるインターンシップに向けて・スライドムービーについての説明が行われ、②のスライドムービーでは今期機青連の飛永代表幹事を中心に「縦横無尽」な活動を行ってきた7つの委員会を、スライド写真に音楽と動きを加えて製作した新しい媒体で紹介しました。

③の生田社長の講話では冒頭にて、年初の伏見工業高校ラグビー部の全国大会優勝という快挙についての話がありました。総合技術科の生徒さん達にとっては、ラグビー部の生徒さんも多い事もあり、優勝の感動・印象や過去のインターンシップでのラグビー部出身者の話しなどに興味深く耳を傾けているようでした。

そして本題では、今年度生田産機工業(株)へ入社した社員さんを引き合いに出し、入社前の社員さんをアルバイトとして実家の母屋を提供し寝泊まりさせていた話や内定していた社員さんが留年するというハプニングが有りながら半年後無事卒業し、入社した話など、大企業では考えられない温かみのある中小企業ならではの良さを存分にお話し頂きました。

それを受けて生田産機工業(株)の新入社員さん二人より「なぜ生田産機工業を選んだか？」という点を中心に話して頂きました。自分のやりたい事を実現できる中小企業の良さ。創造の可能性。そして社長の人格・温かさに直接触れる事の重要性。彼らの話しの中には、以前はどこでもそうであったはずの社員の家族社会が存在しているように思えました。ふと自社に思い直してみると、如何に中小企業でありながら、大企業病化している問題の多い事に気づき、改めて反省させられる思いでした。

④では最後に飛永代表幹事より、ひとづくり委員全員を壇上へ上げ、「仲間の良さ・仲間づくりの大切さ」についてお話を頂きました。何事もやり遂げる上で、仲間の存在の有難さ、喜びと苦しみの共有、目標を共に達成した時の満足感の話などは共感できた生徒さんも多くいたのではないのでしょうか？私達も教壇の上に立つ意味を再認識し、指導者・教育者として仲間づくりやひとづくりを行う上で、同様の思いを持ってインターンシップ活動にも取り組まなくてはいけないと感じました。

伏見工業高校総合技術科1年生の生徒さん達に、インターンシップに参加する前に機青連という団体の片鱗を知ってもらい、中小企業の元気良さや魅力を知ってもらう事を目的の第一とし

て取り組んだ事業でしたが、我々にとっても生徒さん達にとってももう一度原点に戻るという意味で、大変意義の深い授業になったのではないかと思います。

最後に、こんな貴重な体験と勇気ある試みを実現して頂いた京都市立伏見工業高校の諸先生方ありがとうございました。今後もずっと良好な関係でいられるように、よろしくお願いいたします。また、次世代の人々に伝える姿・・・「育とう・育てよう・育ち合おう」の姿を社内でも実践し、今回の講師を就業中の社員さん2名参加と共に、二つ返事で快く引き受けて頂いた生田社長、本当に御世話になりました。ありがとうございました。